

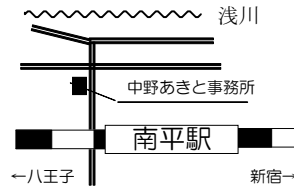


日本共産党市議会議員
中野あきと

みどりと清流



中野あきと事務所ニュース 発行責任者 小山敏正
〒191-0041 日野市南平6-25-1 (南平ビル1階)
(電話・FAX 042-599-3350)



生活相談など
お気軽に
お立ち寄り下さい
中野あきと事務所

<https://midoritoseiryu.skr.jp>

日野市でも3学期から 小中学校の給食が無償化へ

―日野市議会―
公費負担化を求める決議を
全会一致で可決

9月議会最終日、市議会として、学校給食の公費負担化(無償化)を求める決議を全会一致で可決しました。日野市もこれを受け、来年1月以降の3学期から無償化を進めていく方向となりました。

この背景には、東京都が、市町村が無償化をする場合、その必要な予算の8分の7まで補助する新たな補正予算を打ち出したことがあります。これにより市町村の負担は大きく軽減され、多摩26市町村の全自治体で無償化が実施される方向となりました。

―市議会与党―
市民の無償化を求める請願
に反対し不採択に

一方で、今年3月議会以降、継続して審議していた無償化を求める市民の請願は、「無償化は実現する方向だから請願の趣旨は達成されている」「私立も含む完全無償化は難しい」などと与党多数が主張し反対、不採択となりました。これには、市民から「達成されるのなら採択ではないのか」「まったく理解できない不採択だ」「あまりに理不尽な態度だ」など怒り

の声が上がりました。

―日本共産党市議会―

日本共産党は、給食の無償化を求めて市議会に提案し、申し入れなどを繰り返してきました。

9月議会でも、来年度からの実施へ向けた準備を進めるとしていた市に対し、都の補正予算を生かした今年度から一刻も早く実施すべきだと迫りました。

今後とも、公立私立問わず全ての子どもたちの給食無償化を求めていくとともに、重い負担となっている教育費そのものの負担軽減・無償化を進めます。



～中野あきと市議～

9月市議会一般質問に対する市長答弁概要

中野あきと市議は7月の都知事選を振りかえり、選挙で都民が示した思いが都知事の公約にも反映していることを捉え、党派を超えてその実現を求めていく大切さを呼びかけました。

以下は、中野市議の質問に対する大坪冬彦市長の答弁の概要です。

＜市長答弁＞

SDGs未来都市としても貧困をなくしていく。これまでできなかった、足りなかった部分についてはさらに進化させていきたい。

ご指摘いただいた東京都社会的責任調達指針、なかなか感動的。日野市の公契約条例の先を行き、目指すべきものと捉えた。委託先の労働についても質を上げていくことが必要でそういう方向でやっていきたい。

また、データセンター問題は、気候市民会議を立ち上げた市の観点からすると、そのままウエルカムというわけにはいかない。公共の福祉という観点でどうするか、日野市のマスタープランに適合するような施設になるよう指導していきがいえる最大限のことだ。

倉沢の秋

こは「日野市の秘境」と呼ばれています。倉沢と言う地名はありません、百草が正式な地名です。

今でこそ住宅も増え、ミニバスも運行されていますが、このような田んぼと、ほぼ原生林に近い森もけっこう残っています。名園・百草園から更に奥に入った所です。



＜連載＞不正問題を2度と繰り返さないために！

市政で起こったこと、そしてこれから

【第3回】「河内王国」の大罪～市立病院をめぐる②

元副市長の河内久男氏は、市立病院で臨時職員として働いていた7年間で総額8123万円の報酬を得ていました。そのうち3530万円は勤務の実態がなく、不当な報酬として日野市は返還を求めて提訴。最終的に河内氏が3340万円を返還することで和解が成立しました。

勤務の実態がないというのは、同時期に川辺堀之内区画整理組合の理事長相談役として働いており、労働時間等の照合により労働の実態がないと市が認定したもので重複時間6194時間、3336万円に及びます。それと通勤手当の不正支給額191万円と合わせて3530万円の返還を求めているものです。

本当に驚くべき不正の実態が明らかとなりました。

こうした実態に対し大坪冬彦市長は、「元副市長問題における市長からの職員へのメッセージ」(令和2年12月3日)で「私は市立病院の最高責任者、設置者であるにも関わらず、河内氏への賃金・報酬の支払いの実態について特段の報告を求めることもせず、現場に任せきりにしていたところがありました。」と述べました。

なお、市立病院における河内氏の勤務・業務に関する管理監督責任について「市長、副市長、病院長、事務長などに責任はあるとの認識」が示され、市長、副市長は令和2年4月から3ヶ月の減給処分となっています。しかし、真相も、責任の所在もあいまいなままの減給処分に、議会でも、「これで幕引きなど許されない」との声が上がりました。

中野あきと

9月決算審査で共産党市議団が指摘 いま、訪問介護が大変な事態に

いま、訪問介護は人手不足と事業所閉鎖で提供体制が崩壊の危機にありま
す。特に、この4月の報酬改定によっ
て、訪問介護の基本報酬が下げられ、
ヘルパーの人手不足が加速している状
況です。

●9月議会の決算審査で、訪問介護を
めぐる事態をただし、市の答弁により
以下の事実が明らかになりました。

●令和5年度は倒産はゼロ。令和6年
度1件倒産。これからもう1件廃止
届が出るという話を聞いている。

●ヘルパーの平均年齢が高くなってき
ている。なかなか新しい方が入って
こない。ヘルパーのなり手がいない

ことはこの事業所もおっしゃって
いる。

●ケアマネさんからは、希望した時間
に来てもらえない。お願いしても何
件も断られ、やっと見つけるような
状況。報酬改定でやめていくような
方が生まれてくることも聞いている。

●在宅介護の事業所連絡会などで話を
聞かせていただき、都などに上げて
いきたい。

事態は大変深刻です。日野市として
できる支援を行うことは当然ですが、
根本的に国庫の負担割合を高め、介護
報酬の増額や事業の継続を支える仕組
みを整えることがどうしても必要です。

多摩平緑地での樹木枝落下事故を受け 市内全域での樹木緊急点検・剪定を実施へ



9月12日に多摩平第2緑地で樹木の折れた枝が落下して発生した
死亡事故を受け、日野市は、この間、市内全域の緑地・公園・道路に
植えられている樹木について職員による緊急点検を行い、倒木・落枝
の危険性等を確認してきました。

その中で、緊急性が高いと判断される樹木について受託業者による
追加点検を行い、剪定・伐採を行うこととし、議会最終日にそのため
の補正予算1億8602万円を計上、議会で可決成立しました。

10月中旬以降に業務が開始され、3月末までに完了の予定です。

南平4丁目・一番橋通り ミニバス停近く 「左折時 巻き込み注意」の看板2カ所に設置



南平4丁目のミニバス「一番橋通り」停留所近くに、『左折時
巻き込み注意』の看板が2カ所設置されました。

ここは通学路ですが、通り抜け自動車などが多く危険なため、
住民から中野あきと市議事務所に改善の要望が寄せられていまし
た。中野事務所では、安全対策を日野市の道路課に申し入れをし
ていたものです。

市民提出の請願審査結果（令和6年度9月市議会）

- ◆学校給食無償化を求める・・・・・・・・・・不採択
- ◆データセンター設置中止・・・・・・・・・・継続
- ◆東京都が公共交通の総合的整備に責任を持つ・・・・不採択
- ◆三井不動産の日野データセンターについて・・・・不採択
- ◆辺野古基地建設即時中止・・・・・・・・・・不採択
- ◆「国際航空宇宙展」に
イスラエル軍需企業の出展を中止する・・・・・・・・不採択

政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗

日刊 ●月3497円
日曜版●月 990円

〔無料法律相談日〕2024年11月

（お申込み）☎042-582-1042
わたなべ三枝・清水とし子事務所

- 7日（木）PM6時～8時
中野あきと事務所
- 14日（木）PM1時～3時
市役所6階共産党控室

こんにちは
都議会議員
清水とし子です

市民の声が
都政を動かす

「学校給食無償化をすべての自治体で」

小池知事が第3回定例都議会に提出した補正予算案に、学
校給食費について、全市町村が無償化を実現できるよう財政
支援が盛り込まれました。

日本共産党都議団が学校給食費の負担軽減や無償化の条例
を4度にわたり提出し、都民の世論と運動が広がる中、今年
度から都の負担軽減補助が始まりました。

しかし、都の補助は2分の1しかないため、財政力が弱い
市町村は無償化に踏み出せませんでした。これでは新たな多
摩格差が生じることになると、日本共産党都議団は財政支援
の拡充を求めてきました。

今回の財政支援の拡充によって、市町村では、学校給食無
償化に必要な経費の8分の7が都の負担となり、市町村の負
担は8分の1に減ります。これによって、日野市を含め、す
べての市町村が無償化に踏み切る方向です。

短信

「1日8時間労働」になっ
てから77年。今もこの原
則は据え置かれたまま。
むしろ後戻り状態なのが
日本社会の実態だ▼日本では残
業が当たり前。その上、財界言
いならの政治によって裁量労働、
変型労働、高度プロフェッショ
ナル（残業代ゼロ制度）など、
労働法制の抜け穴がつくられ、
結果「過労死」は国際用語となっ
ている▼60年の安保闘争の頃、
勤務していた職場では終業後、
スポーツや文化サークルに興じ
る人も多かった。最寄り駅近く
の飲み屋に顔を出せば、たむろ
している会社仲間に出会えたも
のだ。安サラーだったのが、働
きには余裕があった▼鬱屈気
が変わったのはいつ頃からか。
「失われた30年」と言われるが
新自由主義が跋扈し、儲け最優
先の「成果主義」「自己責任」
が、多くの企業で押しつけられ、
身を削って働くことがしられ
るようになってからだ▼「人間
らしく過ごしたい」「もっと自
分の時間が欲しい」。これは自
分勝手でも、わがままでも、贅
沢でもない▼世界を見れば、日
本のフルタイムの年間労働時間
は欧州諸国に比べ300時間も
長い。北欧のある国では4時が
退社時間。帰宅ラッシュは午後
4時台だという▼日本共産党は
賃上げと一体に、労働時間の短
縮を目指す「自由時間拡大推進
法」を提唱した。「生活にもつ
と時間的ゆとりを」。いつまで
も周回遅れの「暮らしの後進国」
でいいはずはない。（K）